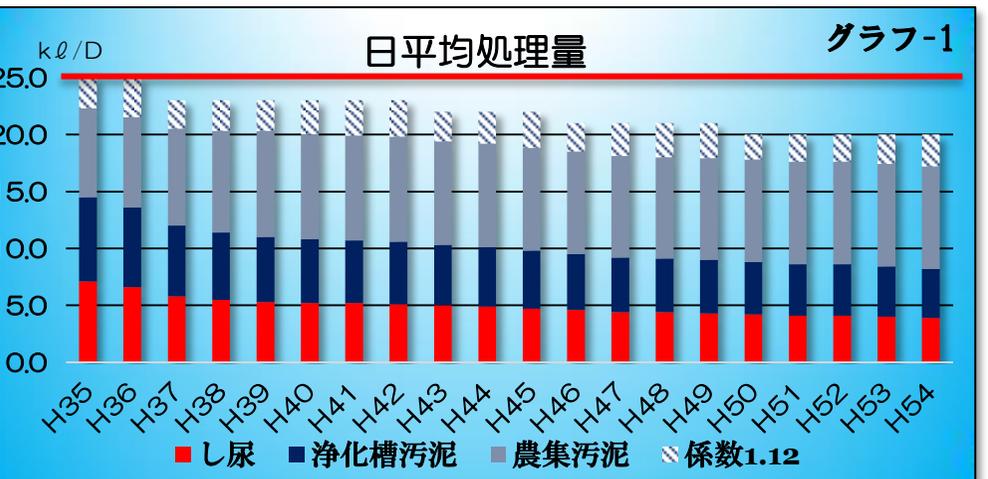


①目的とこれまでの取組み

7年後の平成35年3月で、海津木苑施設は40年を迎えます。  
 平成35年度以降市内で発生するし尿等を、円滑且つ安全に処理していく施設を確保することを目的に、平成35年以降古賀市としてよりベストな「し尿処理」のあり方の検討をしております。  
 平成25年度より庁舎内で「海津木苑近未来プロジェクト」立上げ調査検討を行ないながら、その精度を高めるため、平成27年度より「し尿処理将来構想策定」業務として専門業者へ委託し、海津木苑の将来構想について検討を行っております。

② 委託するベースとなる5項目設定について

- 1. 将来人口推計 (H35年度~H54年度) 古賀市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略
- 2. 市下水道計画を基にし尿処理人口を算出 現実に近い数値
- 3. 過去搬入実績を基にし尿原単位 (ℓ/人・日) し尿3.74ℓ/D・人
- 4. 搬入推計量 (kℓ/日) (H35年度~H54年度) H35年 22.3kℓ/D
- 5. 施設処理規模 (kℓ/日) 日最大変動係数**1.12** **処理量 25 kℓ/日**



③し尿等処理方法抽出 (9案)

図.1

